

2019 年度



医療事故・紛争対応人材養成講座 〔6日間42時間コース〕

医療事故・紛争対応研究会は、毎年、「医療事故・紛争対応人材養成講座」を開催しています。この講座は、医療安全管理、医療事故対応等の問題について、医療安全管理者や現場の医療従事者が備えておくべき知識・技能等について、講義や演習等を行う人材養成講座です。

2019年度は、下記の要領で実施しますので、ご案内いたします。

なお、修了時には、受講時間（6日間、42時間）が示された「受講証」を発行いたします。

2019年3月

医療事故・紛争対応研究会

●東京コース

開催日時：2019年5月11、12日（土・日）6月15、16日（土・日）7月13、14日（土・日）

開催時間：6日間とも9時30分～17時10分

開催場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 東館ホール

（JR山手線「田町駅」もしくは都営地下鉄三田線「三田駅」より徒歩約5分）

応募期間：2019年5月6日（必着） ※参加可能な方へ順次連絡いたします。

●大阪コース

開催日時：2019年8月3、4日（土・日）9月14、15日（土・日）10月26、27日（土・日）

開催時間：6日間とも9時30分～17時10分

開催場所：株式会社日本経営セミナールーム

（大阪市営地下鉄御堂筋線「緑地公園駅」直結ビル6F）

応募期間：2019年7月29日（必着） ※参加可能な方へ順次連絡いたします。

●両コース共通

参加費：7万円（研究会会員：6万8千円）

定員：50名（先着順）

毎年、定員を超える方から申込みをいただいておりますので、早めの申込みをお勧め致します。

申込先方法：参加申込書を①FAX、②E-mailのいずれかでお申し込みください。

①FAX:020-4664-1995、②E-mail: infosmcm-group@umin.ac.jp

【問合せ先】医療事故・紛争対応研究会 事務局

FAX：020-4664-1995 E-mail：infosmcm-group@umin.ac.jp

ホームページ：<http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/>

（各種検索エンジンにて「医療事故・紛争対応研究会」と検索して下さい。）

【解説内容（2018年度の例）】

1. 医療安全管理総論

事故の実態と医療安全政策の歴史

安全管理体制と医療安全管理の基礎

事故対応の基礎と事故の法的責任の概要

被害者の声と医療事故の患者への情報開示

医療側当事者への対応

医療事故の諸機関への届出

賠償責任保険の種別・要点と事故対応への助言

損害賠償金算定の理論と実際

医療事故の社会への情報公開

記者会見：ポジションペーパーとその内容

記者会見：ポジションペーパーの作成

記者会見：演習（1）

記者会見：演習（2）

記者会見：演習（3）

報道関係者からみた医療事故の社会への情報開示

（および実習の講評）

2. 医療安全管理体制・医療安全教育

安全管理体制と体制整備の実際

医療安全教育の内容と方法

医療安全と診療記録

診療記録の監査と模擬カルテ開示

3. 医療安全活動の基本（有害事象の原因分析・

再発防止策の検討）

原因分析総論：各種分析手法とその利点・欠点

原因分析（メディカルセーフター）の手法

原因分析：演習（1）

原因分析：演習（2）

原因分析：演習（3）

原因分析：受講者による発表

原因分析：講評

4. 医療事故対応

現場保存と一次検証

医療事故調査

事故調査報告書

診療関連死の剖検

診療関連死とオートプシーイメージング

死亡診断書・死体検案書

診療関連死の警察署への届出

5. 医療事故と法・倫理

医療事故の法的責任：民事・刑事・行政上の責任

過失（注意義務違反）の判断

因果関係の判断

インフォームド・コンセント（1）説明

インフォームド・コンセント（2）同意能力・理解・同意

説明同意文書：記載内容と文書の作成方法

6. まとめ

2019年度 時間割(予定)

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
	9:30～10:30	10:30～11:30	11:30～12:30	13:10～14:10	14:10～15:10	15:10～16:10	16:10～17:10
1回	医療安全管理総論						
5/11	事故の実態と医療安全政策の歴史	安全管理体制と医療安全管理の基礎	事故対応の基礎と事故の法的責任の概要	安全管理体制と体制整備の実際	医療安全教育の内容と方法	医療安全と診療記録	診療記録の監査と模擬カルテ開示
8/3	前田正一 藤盛啓成 嶋崎明美						
2回	医療安全活動の基本(有害事象の原因分析・再発防止策の検討)						
5/12	原因分析総論: 各種の分析手法と利点・欠点	原因分析(メデ・イカルセーブナー)の手法	原因分析: 演習(1)	原因分析: 演習(2)	原因分析: 演習(3)	原因分析: 受講者による発表	原因分析: 講評
8/4	栗原博之 田中信一郎(講評担当)・栗原博之・音成佐代子						
3回	医療事故対応						
6/15	現場保存と一次検証	医療事故調査	医療事故調査報告書	診療関連死の剖検	診療関連死とオートプシーイメージング	死亡診断書・死体検案書	
9/14	南須原康行 美作宗太郎 高橋長裕						
4回	医療事故対応						
6/16	診療関連死の警察署への届出	被害者の声と医療事故の患者への情報開示	医療側当事者への対応	医療事故の諸機関への届出	賠償責任保険の種類・要点と事故対応への助言	損害賠償金算定の理論と実際	
9/15	前田正一 巽祥太郎 栗原博之 東京海上日動火災保険株式会社						
5回	医療事故対応						
7/13	医療事故の社会への情報公開	記者会見: ポジティブペーパーとその内容	記者会見: ポジティブペーパーの作成	記者会見: 演習(1)	記者会見: 演習(2)	記者会見: 演習(3)	報道関係者からみた医療事故の社会への情報開示
10/26	入田和男 新聞記者、入田和男						
6回	医療事故と法・倫理						
7/14	医療事故の法的責任: 民事・刑事・行政上の責任	過失(注意義務違反)の判断	因果関係の判断	インフォームド・コンセント(1) 説明	インフォームド・コンセント(2) 同意能力・理解・同意	説明同意文書 記載内容と文書の作成方法	質疑応答
10/27	丸山英二 前田正一						

送付先：下記のいずれかでお申込みください

① FAX：020-4664-1995

② ホームページ上：<http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/index.html>

医療事故・紛争対応 人材養成講座 受講申込書

2019年度 医療事故・紛争対応 人材養成講座の受講を申し込みます。

会員別	<input type="checkbox"/> 会員 (会員 No. _____) <input type="checkbox"/> 非会員		
会場区分	<input type="checkbox"/> 東京会場 (5, 6, 7月開催) <input type="checkbox"/> 大阪会場 (8, 9, 10月開催) (注意：必ずご希望の会場を選択してください。)		
ふりがな		性別	男 ・ 女
氏名		生年月日	年 月 日
ご勤務先			
所属機関・部署			
住所	〒 _____		
電話番号			
FAX 番号			
E-mail	_____ @ _____		
連絡方法	1. FAX 2. E-mail (E-mail アドレスをお持ちの方は、基本的には E-mail をお選び下さい。)		
お支払い方法	1. コンビニ決済 2. 銀行振込 (ご希望される方をお選び下さい。)		
職種 (○で選択)	1. 医師・歯科医師 2. 看護師 3. 薬剤師 4. その他医療技術職 (_____) 5. 事務系職員 6. 教育・研究関係者 7. その他 (_____)		
医療安全分野での 職務経験	1. あり(_____ として) 2. なし (グループワーク時のメンバー構成のためにお尋ねするものです。受講可否には関係しません。)		

* 事務局記載欄

受付日：2019年 _____ 月 _____ 日

受付番号：No. _____